

飯山赤十字病院に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
信州大学における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年5月28日

**「早期胃癌における炎症関連分子の発現解析」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。また、この研究は飯山赤十字病院倫理委員会の審査による院長の承認も得て実施しています。

倫理審査承認番号	5103
研究課題名	早期胃癌における炎症関連分子の発現解析
所属(診療科等)	信州大学医学部分子病理学教室
研究責任者(職名)	中山 淳 (信州大学医学部分子病理学教室 教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年3月31日
研究の意義、目的	早期胃癌において炎症関連物質がどのような働きをしているかを明らかにすることを目的とした研究で、早期胃癌の今後の診断・治療に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2015年1月1日から2021年3月31日の期間に飯山赤十字病院で内視鏡手術を行い、早期胃癌の病理診断が確定した症例。
利用する診療記録／検体	年齢、性別、身体所見、検査結果など／パラフィン固定ブロックおよびガラス標本
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	検体(パラフィンブロック、ガラス標本): 郵送 データ: 郵送・電子メールにより提供を受けます。
研究方法	既に採取された腫瘍のパラフィン固定ブロックを用いて、がんの悪性度を規定する可能性のあるタンパク質の糖鎖修飾について調べます。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	飯山赤十字病院(責任者: 松浦 博之) 信州大学医学部(責任者: 中山 淳)
研究代表者	主任施設の名称: 信州大学医学部分子病理学教室 研究責任者: 中山 淳
問い合わせ先	信州大学医学部分子病理学教室 教授 中山 淳 電話: 0263-37-3394

**既に採取されたパラフィン固定ブロックおよび収集された情報をもとに研究、調査、集計し**

ますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で飯山赤十字病院から提供された試料・情報を信州大学で利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。